

佳作 元気をもらった日



トウー ティン ザー カイン
HTOO TIN ZAR KHAING
国 籍 ミャンマー
職 種 介護
実習実施者 社会福祉法人ノテ福祉会
監理団体 アジア人材育成事業協同組合

その日は緊張で朝早く目が覚めました。私が初めて介護の実習を行う日だったからです。私の実習先は東京の高齢者デイサービスセンターです。外国で仕事するのは初めてなので、仕事をしっかり覚えられるか？3年続けられるのか？利用者様ときちんとコミュニケーションが取れるか？など大変不安な気持ちでいっぱいでした。午前8：30に出勤し、職員全員集まって朝礼をしました。朝礼が終わり、先輩職員と一緒に送迎車に乗って利用者様をお迎えに行きました。利用者様のご自宅の前に着いたら先輩に教えられたとおりインターホンを押して「おはようございます。デイサービスでございます。〇〇さんを迎にきました。」と明るいう声で言いました。すると中から「よいしょ、どこいしょ」と言いながら家から出てきた方はなんと100歳の利用者様でした。私は「すごいなあ。私の国では100歳で元気な人はほとんどいないなあ」と思わず自分でつぶやいてしまいました。次に向かった家では、インターホンを押してもドアをノックしても返事がありませんでした。「あれ、どうしよう」と思っていたら、元気がよくてハンサムなおじさんが、

「ごめん、ごめん」と言いながら出できました。テレビを見ながら寝てしまったそうです。利用者様を車に乗せてセンターに戻りました「時間に余裕をもってスムーズに送迎車に乗って頂くことが大切だ」と先輩が私に教えてくれました。12時頃、利用者様は昼食をとり、私も休憩に入りました。自分で作ったお弁当はいつもと違って特別に美味しかったです。昼食後はレクリエーションの時間でした。カラオケで「りんご可愛いや可愛いやりんご」と歌っている利用者様を見て素晴らしいと思いました。15時頃に帰宅準備をして、利用者様のご自宅まで無事送りました。5時頃センターへ戻り、分からないことを先輩に聞いて記録しました。仕事が終わって家へ帰る途中、電車の中で利用者様からもらった俳句を開けて見たら「希望に満ちた春に、降る雪はキラキラと輝いています。貴方のように」と書かれていました。私は嬉しさで胸がいっぱいになり「明日も頑張るぞ」と言いながら家に帰りました。介護の仕事は大変なところもありますが、利用者様のこの俳句を思い出してやりがいを持って仕事ができるように「石の上にも三年」ということわざのとおりこれからも頑張っていきたい思います。